

Rotary



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算3173回
2023年9月1日
第8回例会**Create hope in the world**

世界に希望を生み出そう

2023~2024年度 R | 会長
ゴードン R. マッキナリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

人吉ロータリークラブ
ホームページ

f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2023~2024年度 人吉ロータリークラブテーマ コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そう

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

会長の時間

幹事報告

出席率報告、誕生祝い

寄付カード

R財団認証ピン贈呈、会務報告

Rの友月間卓話・Rの友紹介

点 鐘 北 昌二郎 会長

歌 唱 ヲグリーガー 水野虎彦副委員長

国 歌 「君が代」
R S 「それでこそロータリー」

司会・進行 プログラム 伊久美早利委員長

会長の時間 会長 北 昌二郎

親愛なるロータリアンの皆さんこんにちは。
先週のガバナー公式訪問例会は、お疲れ様でした。
膳所ガバナー、パートナーともに喜んでお帰りになりました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

さらに乾杯のご発声を頂きました浦田パスト会長、
ありがとうございました。やはり先輩のご発声で懇親
会が引き締まった感じがいたします。機会がございましたらまた宜しくお願い致します。

さて、9月は基本的教育と識字率向上月間ということで、
来週は人吉市教育員会より教育長志波典明様をお招きして卓話をいただきます。有馬委員長のご尽力に感謝申し上げます。

「基本的教育月間」とは、ロータリークラブが教育

の重要性を強調し、地域社会での識字率向上を目指す取り組みの一環です。この取り組みの中で、地域内での識字率向上に焦点を当て、様々な活動やプログラムを通じて教育の普及と向上を図ります。ロータリークラブの基本的教育月間の活動には、さまざまな活動が考えられます。具体的な取り組みとして

1. 識字キャンペーン：地域内での識字率向上を促進するためのキャンペーンの実施。学習イベントや読書コンテストなど、識字を楽しい活動として広める試みなど。
2. 本の寄贈：本を寄贈して地域の学校や図書館の資源を増やし、子供たちの読書環境を充実させる取り組み。
3. 教育セミナーやワークショップ：識字率向上に関する意識を高めるために、教育セミナーやワークショップを開催することが考えられます。保護者や教育関係者向けに、読書や教育支援に関する情報を提供する。
4. 読書プログラム：子供たちに読書の楽しさを伝えるために、読書プログラムが組まれることがあります。地域の学校や公共施設で読み聞かせなどの読書イベントが開催され、子供たちの興味を引くことなど行われている。
5. 識字支援の提供：読み書きが苦手な人々への支援を行うため、個別の指導やグループセッションを通じて識字スキルの向上を支援するプログラムが考えられる。このようにロータリークラブの基本的教育月間は、地域社会の教育環境を向上させるための大切な取り組みの一部です。識字率の向上は、個人や社会全体の発展に寄与する重要な要素の一つとされています。

当クラブでは2020年葉山年度におきまして、幼稚園、小中高に図書券を寄贈しました。詳しくは葉山パスト会長に1分スピーチをお願いいたします。

葉山パスト会長突然のスピーチ依頼にもかかわらず、ありがとうございました。これが双方向の会長の時間です。たくさんの方にお話しして頂ければと

思います。

さて、本日のパスト会長所信シリーズ第4弾は、今から18年前、2005～2006年度当時68才第49代会長を務められました中島博之パスト会長をご紹介します。

私は入会5年目45歳のかわいいロータリアンでした。中島会長のテーマは「継続と新しい挑戦で創立50周年へ向おう！！」です。中島年度の例会数は2379回からスタートしました。本日の例会数が3173回で中島年度のスタートから本日で794回開催されたということになります。

50周年式典を目前に控えた49代会長として大変お忙しかつたのではないかなあと思うのですが、中島パスト会長は何が一番大変でしたか？ 当時を振り返りどうでしたでしょうか。

中島パスト会長ありがとうございました。

中島会長年度の時代背景は、プロ野球セ・パ交流戦が開幕しました。愛知県では「愛・地球博」が開幕、また痛ましい事故としてJR福知山線の脱線事故などが記憶にあります。

当時中島会長はこのように述べておられています。「常に視線を感じるクラブであり続けるには、継続と新しい挑戦なくしては輝ける歴史と伝統は守れない。人吉ロータリクラブを離れられた多くの先輩ロータリアンは、やはり人吉ロータリークラブはいつまでも視線を浴び続けられるクラブであってほしいと願っている。と私は思う」と結んでおられます。

あれから18年、あの時の中島会長のお気持ちを実現するような取り組みが、当クラブを離れられた方々と今一度、当時を振り返り語り合おうという思いが、9月15日のホームカミングデーなのです。

すでに案内状は郵送しておりますが、皆様の携帯電話の連絡先の中にロータリーを去られた卒業生のお一人で結構ですでお電話をかけて頂けないでしょうか。

久しぶりに会う方々との懇親会は考えただけでもたのしくなるのではないのでしょうか。あと2週間後です。どうぞお電話をよろしくお願ひいたします。

今年の人吉ロータリーのテーマは、「コ・クリエーション（共創）復興の希望を生み出そうです。会長の時間をおわります。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 小笠原賢治

《理事会承認事項》

- ・歳末たすけあい演芸会の後援を承認
後援内容；チラシ・ポスター類の名義使用
- ・9/15ホームカミングデーについて
 - ・例会時間を変更18時～19時とする
 - ・来訪者より会費として5千円を頂くこととする

《連絡事項》

地区事務所より

- ・ロータリーレート 1ドル 146円
- ・ローターアクトの年次大会(仮登録) ご案内
- ・財団・会員増強合同セミナーご案内
- ・第21回ロータリー全国囲碁大会ご案内
- ・ロータリー文庫運営委員会より2022～23年度決算

2023～2024年度予算書の報告

・第52回ロータリー研究会登録のご案内

秋山ガバナー補佐より公式訪問お礼

例会取り止め 熊本東南9/20

人吉RC例会予定

9/8 人吉市教育長卓話 あゆの里12:30～

9/15 「ホームカミングデー」例会あゆの里18:00～

9/22 休会

9/29 早朝例会 禊橋周辺清掃 例会7:00～

出席率報告

委員長 平田フク

現 会 員 数	47名	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	46名	8/25 出席率	
欠 席 者 数	18名	60.87%	
出 席 者 数	28名		
免除会員出席数	0名	ZOOM(-) 会場(28)	

現 会 員 数	47名	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	46名	本日の出席率	
欠 席 者 数	9名	80.85%	
出 席 者 数	37名		
免除会員出席数	1名	ZOOM(4) 会場(34)	

【親睦委員会】

委員 鳥井正徳

9月誕生祝い

大久保勝人会員 3日	安達玄一会員 16日
井手富浩会員 24日	中川貴夫会員 29日
新堀純子会員 30日	加登住亮会員 30日



【寄付カード】

8月25日公式訪問例会〈ニコニコ箱委員会〉

- ・ガバナー膳所和彦様

【R財団寄付認証ピン贈呈】

第2回 マルチプルポール・ハリス・フェロー
葉山稔洋会員



【雑誌委員会】

ロータリーの友月間卓話



ロータリアンなら読もう
『ロータリーの友』

委員長 春木 顕

「ロータリーの友」の役割

『友』は国際ロータリー（RI）の機関雑誌です。ロータリアンには国際ロータリー（RI）が認可したロータリーの雑誌の購読義務があります。

日本のロータリアンは、アメリカ本部で発行しているROTARY誌もしくは、ロータリーの友を購読することになっています。RIの認可を受けるための条件の一部を紹介します。

RIに認可された雑誌が世界には30種類以上あります。写真は、左からアメリカ、日本、台湾、韓国、ポルトガルのいずれも7月号の表紙です。

『ロータリーの友』は、国際ロータリー（RI）から認可を受けた雑誌です。



ロータリーの雑誌は、世界で30種類以上あります

国際ロータリー(RI)に認可を受けるために (一部)

- ①RIが指定した記事を掲載すること
毎月掲載している、RI会長メッセージや、財団管理委員長メッセージなどのほか、国際大会参加推進の記事、会長エレクトのQ&Aなどが掲載されています。
- ②国際ロータリーの方針を伝えること
RIの方針、方向性への理解が深めるような記事を掲載しています。
- ③年に6回以上発行すること
各号少なくとも24ページ以上にする
- ④雑誌の内容の50%はロータリーに関係した記事であること
ロータリーの友は、ロータリーの機関雑誌ですが、その内容はロータリーのことではありません。ロータリー活動と奉仕の枠組みとなる文化的、倫理的、道徳的な問題を取り上げることで、読者の視野を広める記事も提供しています。加えて、ロータリーの友を会社やご自宅に持ち帰っていただき、社員の方やご家族の方も楽しめるような記事づくりを心がけています。
- ⑤読者が印刷媒体か電子媒体を選択できること
RIの資金援助を受けずに、経済的に自立すること

特に①②⑤について詳しく紹介します。

- ①国際ロータリー（RI）が指定する記事を掲載する
ロータリーの友がロータリーの雑誌として認められるために、国際ロータリー本部が指定する記事を掲載しなければなりません。それと同時に、ロータリアンにはロータリーの雑誌を購読する義務があります。つまり、ロータリアンは本部が指定した記事を読む必要があるということです。毎月、RIが掲載

を指定する記事には、会長メッセージ、財団管理委員長メッセージ、国際大会の参加推進記事があります。指定記事には、地球儀にRIと書かれたロゴを表示しています。世界中のロータリアンが読んでおくべき内容なので、ぜひお読みください。

②国際ロータリー（RI）の方針を正しく伝えること

RIでは近年、統一性のあるブランディングの構築を目指しています。このため、ロータリークラブやローターアクターほか、各種ロータリーのプログラムで公式ロゴを正しく使うことが奨励されています。

ここに示した写真は、残念ながら『友』では掲載できません。なぜか分かりますか？その理由は、公式ロゴではないマークが入っているからです。



正しい公式ロゴの使い方は、RIのウェブサイト、マイロータリーの中のブランドリソースセンターに掲載しています。ウェブサイトからフォーマットを使って自分たちのクラブの名前入りのロゴも作れます。地域社会にロータリーの統一したブランドイメージを広めていきましょう。

⑤電子版で購読できます

ロータリーの友を購読している人は、印刷媒体か電子媒体を選択することができます。（印刷版購読者も電子版を利用できます）。追加の料金はかかりません。

最新号は毎月1日に更新されます。ご利用いただくためには、クラブごとに発行されるID、パスワードでログインが必要です。ID、パスワードは、友事務所から送られる友誌の請求書に記載していますので、クラブ幹事あるいは、クラブ事務局など請求書を管理している方にご確認ください。また、このサイト内では、1953年1月の創刊号を含むバックナンバーがすべてご覧いただけます。検索機能も充実しているので、ぜひご活用ください。なお、パスワードは、7月15日と1月15日に変更します。

そのほかの条件として

現在、7月号にはRIから配信される新会長の写真を使うことが機関雑誌として決められているのですが、RI会長の写真が最初に表紙に使われたのは、1979年。夫妻で表紙を飾ったのは1990年です。ロータリーの雑誌の購読が義務付けられたのは、1977年の規定審議会です。ロータリーの友がRIから公式地域雑誌として承認を受けたのが、1980年なので、この時期に前後して、RIの情報が多く掲載されるようになりました。

ロータリーの友は、国際ロータリーのオフィシャルな情報を掲載しつつ、創刊当初の目的である国内のロータリアンの情報交換や親睦を深めるような記事の掲載を続けています。

23-24年度『友』表紙 DEI推進に取り組む

さて、ロータリーの友の今年度8月号以降の表紙は、昨年度に引き続き障害のある人が創作した作品で表紙を飾っていきます。アートは健常者の特権で

はありません。障害のあるなしにかかわらず、豊かな才能と表現で彩られた作品を紹介することで、DEI（ディーイーアイ/多様性、公平さ、インクルージョン）推進に取り組むロータリーの方針をアピールします。表紙だけでなく、友誌のコンテンツでも話題に富んだ記事を提供して行く予定です。

横組みと縦組みがある理由

ロータリーの友の大きな特徴として、表紙が2つあり、横組み、縦組みで構成されるということが挙げられます。創刊時は、全て横書き（横組み）でした。しかし、俳句を掲載するようになり、部分的に縦書き（縦組み）で掲載するようになりました。その後、横書き、縦書きが混在していましたが、縦書きで掲載する記事も増えてきたため1972年1月号から横書きと縦書きを分けた形式になりました。この時から、表紙は2つになったわけです。現在、横組みでは、RI関係の記事、特集、ロータリーに関する理解を深める記事を中心に取り上げています。

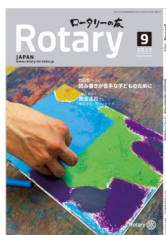
今年度から、ロータリークラブ・地区の活動を紹介するロータリーネットワークを横組みの掲載に変更しました。縦組みは、読者のエッセイ、俳句など趣味のコーナー、知識が広がる講演や卓話の要旨、など会員同士の親睦を深められるような記事を掲載しています。親しみやすく、人気があるのは縦書きの欄です。しかし、先ほどもお話しした通り、RIの指定記事を読んでこそ、会員の購読義務を果たしたといえますので、指定記事もぜひぜひご一読ください。

ロータリーの友の創刊したきっかけ

1952年7月、日本のロータリーが2地区に分割されたことでした。分割後も、お互いの地区のことを知っていたいという思いから、翌1月両地区の懸け橋として生まれた雑誌です。それ以来、『友は』日本のロータリアンを結ぶお手伝いをしています。

ロータリーの友9月号紹介

委員長 春木 顕



今日から9月。9月のロータリーは「基本的教育と識字率向上月間」、そして「ロータリーの友月間」です。今日は「ロータリーの友月間」ということで、いつもの倍の時間をいただいて、卓話という形で月例の「友の紹介」と「ロータリアンなら読もう『ロータリーの友』」の2つをさせていただきます。

まずはロータリーの友9月号の紹介です。

横組み側の表紙をめくって裏表紙をご覧ください。

「『地域社会を祝おう』週間が11日～17日のようです。世界各地のロータリークラブとロータアクトクラブは地元のライオンズクラブ等と協力して地域への奉仕活動をするようになっていきます。

4ページのR I ゴードン R. マッキナリー会長のメッセージから。9月21日の「世界平和デー」に係る平和の実践の呼びかけです。長らく、そして現在も緊張

状態が続くパキスタンとインドのそれぞれのロータリアンの活動を例に挙げ、平和構築のための実践を呼びかけています。私たちには何ができるのか考えたい内容です。

7ページからは「～『ロータリーの友』を裏側から探る～毎月雑誌がつくられるまで」という現場レポートです。対談を読むと、コロナ禍での例会中止期間も「友」を読むことで自分とロータリーがつながっていると感じたという声が紹介されています。10ページには「どうしたら掲載されるの?」、12ページの「読者の質問に答えます」には「表紙が二つあるのはなぜ」「一般雑誌のような内容を掲載してほしい」等、興味深い内容も書かれています。

今日9月1日は防災の日でもありますが、16ページには関東震災から100年にちなんで、関東震災時の国際ロータリーからの支援や大阪RCの動き、震災後10月10日には例会を再開した東京RCの取り組んだ内容が紹介されています。初めて知ったのが、江戸時代の施策「七分積金」制度です。

続いて縦組み。4ページには「読み書きが苦手な子どものために」という第2680地区社会奉仕委員会の「発達障害理解のための基礎と実践講座要旨」があります。実は私の中1になる次男もここに述べられている内容に当てはまる子どもです。先日も中2以降の学習について先生と教育相談をしましたが、支援学級の先生でさえアップデートされていないなあと感じたほどです。だからこそ私たちは意識して理解する必要があります。

要旨にもどします。大別すると問題は三つ。1、社会性（対人関係）。2、言語コミュニケーション。3、あることに強烈にこだわるなど特異的な性格。親に「ちょっとお風呂見てきて」と言われて、発達障害の子はただ「見てくる」だけという分かりやすい事例が紹介されています。この障害に理解が進むと、このような子には「お風呂を見てきて。みんなが入れるくらい溜まっていたら、お湯を止めてね」という具体的な指示ができ、お互いに困ることはなくなります。そんな理解のきっかけになる内容ですので、ぜひしっかりお読みください。

9ページには、岐阜中ロータリークラブ故金正司さんの紹介。害虫駆除会社を営まれているのですが、印象に残ったのが12ページの内容です。蚊を媒介した感染症から身を守るためアフリカに蚊帳を送ったのだが、蚊帳に入っているのは親だけで子どもは使わないという内容の部分です。その理由も書かれているのでぜひご一読ください。

13ページの「蕎麦は五穀？」も面白い記事でした。

最後に、14・15ページの川柳の中から。今月は、今年の暑い夏を象徴する句、そしてICT化に必死について行くだけの私にぴったりの句のふたつを紹介してロータリーの友8月号の紹介を終わります。

「真夏日に泡にあわてて飛び込んだ」

(神奈川県 白鳥厚夫氏)

「デジタル化自分の過去も初期化する」

(山形・高畠 鈴木征治氏)

点 鐘 北 昌二郎 会長